本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

カシオ計算機株式会社
MA9712-000501A

N P

CASIO

50件の電話番号・スケジュール記憶、8桁計算
ワールドタイム、アラーム、ストップウオッチ

1276

取扱説明書

1276

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

◆目的に合わせて上手に本機を活用しましょう◆

- ●時刻・カレンダーを合わせる
- ●ストップウオッチで時間を計る
- ●アラーム・時報を鳴らす
- ●世界各都市の時間を知る
- ●計算する
- ●スケジュールを覚える
- ●名前&電話番号を覚える
- ●表示の見方

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。





電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



⚠注意

データ控を作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



◆ 目　次 ◆

安全上のご注意 —— 表紙裏面

表示の見方 —— 4
スケジュール予告・表示照明用ELバックライトについて　6

テレメモ機能の使い方 —— 7
テレメモ機能とは・データをセットする　7／テレメモデータ修正・データ消去のしかた　9／メモリー使用本数を見る・データの呼び出し　10

スケジュール機能の使い方 —— 11
スケジュール機能とは・データをセットする　11／スケジュールデータ修正・データ消去のしかた・データの呼び出し・セットした月日／時刻になると　13

計算機能の使い方 —— 14
ワールドタイムの使い方 —— 16
アラーム・時報の使い方 —— 18
ストップウオッチの使い方 —— 19
時刻・カレンダーの合わせ方 —— 20

製品仕様 …… 21
ご使用上の注意 …… 26
お手入れについて …… 27
電池交換について …… 28

表示の見方

各モードでその機能を使用したあとにⒸボタンを押すか、各モード表示のまま、ボタン操作をせずに２～３分（計算モードは５～６分）すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。（ストップウオッチモードを除く）
※表示内容や詳しい使い方は、各機能の項目をご覧ください。

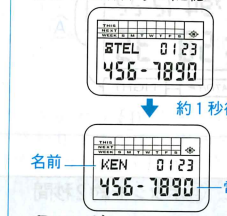
時刻・カレンダーモード



Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

テレメモモード

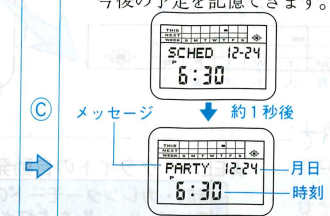
名前と電話番号を記憶できます。



☞7ページ
「テレメモ機能の使い方」参照

スケジュールモード

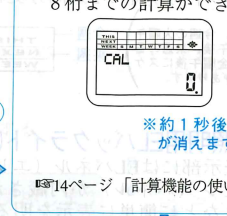
今後の予定を記憶できます。



☞11ページ
「スケジュール機能の使い方」参照

計算モード

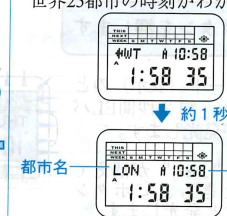
８桁までの計算ができます。



☞14ページ「計算機能の使い方」参照

ワールドタイムモード

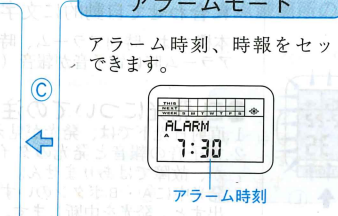
世界25都市の時刻がわかります。



☞16ページ
「ワールドタイムの使い方」参照

アラームモード

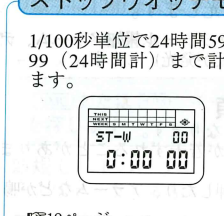
アラーム時刻、時報をセットできます。



☞18ページ
「アラーム・時報の使い方」参照

ストップウオッチモード

1/100秒単位で24時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。

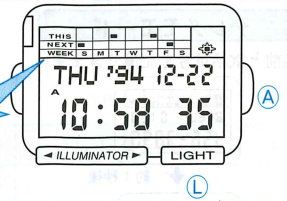


☞19ページ
「ストップウオッチの使い方」参照

■スケジュール予告

時刻・カレンダーモードでは、今後2週間のスケジュールの有無を表示し、セットしたスケジュール当日になると、該当部分が点滅表示します。
※日曜日の午前0時に1週間分更新されます。

<時刻・カレンダーモード>



右図では、今週の火曜午前、木曜午後、来週の日曜午前、金曜午後にスケジュールがあります。



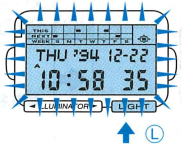
■表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときなどに簡単に表示を明るくして見ることができます。

●表示を明るくするには(ライト点灯)

Ⓛボタンを押します

→どのモード（表示）のときでも、約2秒間ELパネルが発光します。



※なお、“ ◈ ”が消えているときも、Ⓛボタンを押すと発光します。

★ELバックライトの自動発光

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓐボタンを約2秒間押して、“ ◈ ”を点灯させます。

※もう一度Ⓐボタンを約1秒間押すと、“ ◈ ”が消えます。

→“ ◈ ”が点灯しているときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

※本機では、時刻アラーム、時報、スケジュール報知アラーム、デモアラーム時に電子音が報音（＝文字板が発光）します。

●EL発光についての注意事項

1.直射日光下では、発光が見えにくくなります。
2.電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがありますが、故障ではありません。
3.発光中にⒶ・Ⓑボタンのいずれかを押したり、アラームなどが鳴り出すと、発光を中断します。
4.発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

テレメモ機能の使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを1回押してテレメモモードにします。

■テレメモ機能とは

名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。
本機は、名前9文字、電話（FAX）番号12桁のデータを最大50件*まで記憶できます。

*データ件数はスケジュールと共用ですので、別にスケジュールをセットしているときの記憶できる件数は少なくなります。

データをセットすると、名前のアルファベット順に並び替わりますので、データを探すときもたいへん便利です。（データを探すときは、10ページ「データの呼び出し」を参照してください。）

“◇FULL” 表示となるときは

すでに50件のデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消去してからセットを行なってください。

テレメモデータを消すとき… 9ページ「テレメモを消すとき」参照
スケジュールを消すとき …13ページ「スケジュールを消すとき」参照

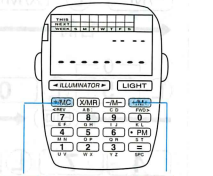
■データをセットする

1件あたり、名前はアルファベットで9文字、電話番号の数字は12桁までセットできます。

(1) ページを選ぶ
テレメモモードのとき、

+/MCまたは +/M+ キーを押します

<リセット表示>

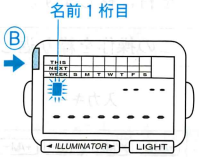


・新規セットのときは、
→「リセット」表示に

・データ修正するときは、
→修正したいデータ表示に

(2) セット表示にする

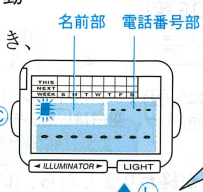
Ⓑボタンを約2秒間押します



→名前の1桁目が点滅します。

★点滅箇所の移動

セット表示のとき、



※データを修正するときは、Ⓛ・ⓒボタンで修正したい文字を選べます。（9ページ「テレメモを修正するとき」参照）

(3)　名前をセットする

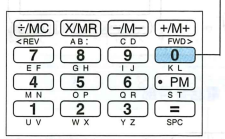
名前は、入力キーに印刷されている文字（アルファベット／数字／記号）を使ってセットできます。

入力キーを押すごとに、キーおよびキーの下側に印刷された文字が点滅箇所に表示されます。

→使いたい文字が表示されたら、Ⓛボタンを押して点滅を右に移します。

この操作を繰り返して、名前をセットします。

入力キー



例）このキーを押すと、

K→L→ 0 →K→…

の順で表示します。

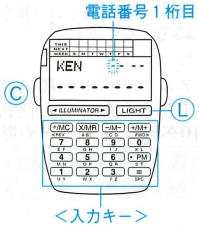
※ピリオド（.）は • PM キー、ハイフン（-）は −/M− キー、コロン（:）は X/MR キー、空白は = キーを押します。

→名前のセットが終わりましたら、Ⓛボタンを押して点滅を電話番号１桁目に移動させます。

(4)　電話番号をセットする

電話番号は入力キーに印刷されている数字を使ってセットできます。

数字（電話番号）部分が点滅しているとき、

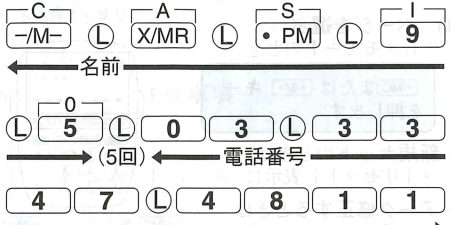


入力キーを押すごとに、キーに印刷された数字が点滅箇所に表示されます。

→数字が表示されると自動的に次の桁に点滅が移動しますので、これを繰り返して電話番号をセットします。

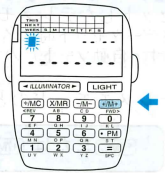
＜セット例＞

「CASIO　03-3347-4811」をセットするとき



★続けて他のテレメモをセットするとき

テレメモを１本セットしたときに +/M+ キーを押します

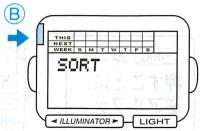


→新しいセットページになり、名前の１桁目が点滅します。

(3)～(4)の手順を繰り返してテレメモをセットします。

(5)　セットがすべて終わりましたら、

Ⓑボタンを押します



→名前順に並び替え（自動ソート*）を行なった後、テレメモモードの表示に戻ります。

※１回に入力したデータ数によりソート表示時間は異なります。

※セット表示のまま、２～３分すると、自動的に点滅が止まります。また、テレメモモードのまま、２～３分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

*自動ソート

名前部を先頭から比較し、あとで呼び出しやすいように自動的に並び替える機能です。並び替えの順番は、「空白→アルファベット（A～Z）→数字（０～９）→ハイフン（-）→ピリオド（.）→コロン（:）」となります。

■テレメモデータ修正・データ消去のしかた

セットしたテレメモを修正、または消去するときは、以下の手順で行ないます。

準備１　修正／消去したいテレメモを表示させる

÷/MC または +/M+ キーを押します

※データの探し方は、10ページ「データの呼び出し」を参照してください。

準備２　セット表示にする

Ⓑボタンを約２秒間押します → 名前の１桁目が点滅し、セット表示になります。

●テレメモを修正するとき

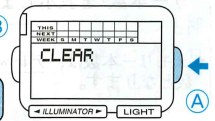
セット表示のとき、ⓁまたはⒸボタンで点滅を移動させて修正箇所を選び、テレメモセット時と同様に正しい文字（数字）を入力し直します。

※修正が終わりましたら、Ⓑボタンを押して、テレメモモードに戻します。

●テレメモを消すとき

セット表示のとき、

Ⓐボタンを約３秒間押します



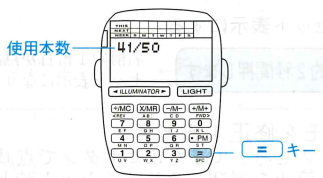
→“CLEAR”が表示され、データが消えます。

※消去が終わりましたら、Ⓑボタンを押して、テレメモモードに戻します。

■メモリー使用本数を見る

テレメモモードまたはスケジュールモードのとき、

[=] キーを押します



→[=]キーを押している間、現在使用しているメモリー本数*を表示します。

＊メモリー本数は、テレメモとスケジュール両方を合計した数となります。

■データの呼び出し

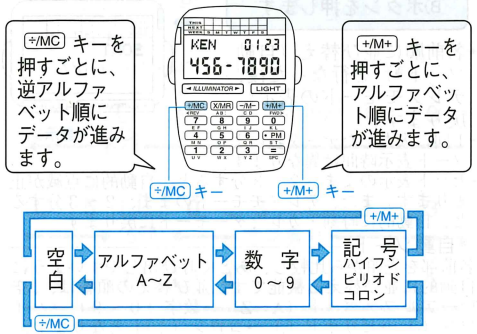
セットしたテレメモは、以下の手順で呼び出せます。
※データセット時に名前がアルファベット順に並び替わります（自動ソート）ので、探すのにたいへん便利です。

テレメモモードのとき、

[÷/MC] または [+/M+] キーを押します

→それぞれのキーを押すごとに記憶されているテレメモが呼び出されます。

※いずれのキーも、押し続けるとデータが早く進みます。
※なお、名前を７文字以上セットしたときは、表示が右から左へ流れるスクロール表示となります。



スケジュール機能の使い方

時刻・カレンダーモードのときにⒸボタンを２回押してスケジュールモードにします。

■スケジュール機能とは

指定した「月日／時刻」になると、電子音が20秒間鳴り、スケジュールを知らせる機能です。

本機は、「月日／時刻」に加え、スケジュールのメッセージとして「最大12文字までのアルファベット」のデータを最大50件*まで記憶できます。
*データ件数はテレメモと共用ですので、別にテレメモをセットしているときの記憶できる件数は少なくなります。

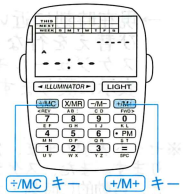
データをセットすると、現在に一番近い順に並び替わりますので、データを探すときもたいへん便利です。（データを探すときは、13ページ「データの呼び出し」を参照してください。）

■データをセットする

１件あたり、月日／時刻および12文字までのメッセージがセットできます。

(1)　ページを選ぶ
スケジュールモードのとき、

[÷/MC] または [+/M+] キーを押します



・新規セットのときは、
→「リセット」表示に

・データ修正するときは、
→修正したいデータ表示に

“◇FULL” 表示となるときは

すでに50件のデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消去してからセットを行なってください。

スケジュールを消すとき　…13ページ「スケジュールを消すとき」参照
テレメモデータを消すとき…９ページ「テレメモを消すとき」参照

(2)　セット表示にする

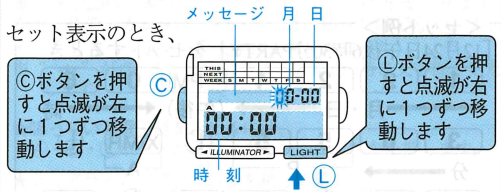
Ⓑボタンを約２秒間押します



→月（10月台）が点滅します。

★点滅箇所の移動

セット表示のとき、



※データを修正するときは、Ⓛ・Ⓒボタンで修正したい数字（文字）を選べます。（13ページ「スケジュールを修正するとき」参照）

(3)　月日／時刻をセットする

月日／時刻は入力キーに印刷されている数字を使ってセットできます。

スケジュールの月日／時刻は、テレメモの「電話番号セット」時と同じ操作方法でセットできます。
(8ページ「電話番号をセットする」参照)

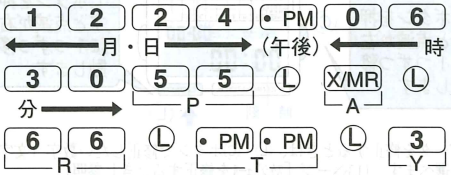
※スケジュールをセットできるのは、「今日」から1年間（例えば、今日が12月12日のとき、翌年の12月11日までセット可能）です。また、必ず「月日時分」をセットしてください。「00月00日」のときは、スケジュールとして記憶されません。

(4)　メッセージをセットする

メッセージは、入力キーに印刷されている文字（アルファベット／数字／記号）を使ってセットできます。

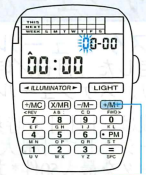
スケジュールのメッセージは、テレメモの「名前セット」時と同じ操作方法でセットできます。
(8ページ「名前をセットする」参照)

＜セット例＞
「12月24日午後6時30分PARTY」をセットするとき



★続けて他のスケジュールをセットするとき

スケジュールを1本セットしたときに +/M+ キーを押します

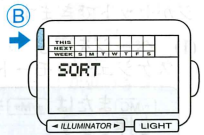


→新しいセットページになり、月（10月台）が点滅します。

(3)～(4)の手順を繰り返してスケジュールをセットします。

(5)　セットがすべて終わりましたら、

Ⓑボタンを押します



→現在時刻に近い順に並び替えを行なった後、スケジュールモードの表示に戻ります。

※セット表示のまま、2～3分すると、自動的に点滅が止まります。また、スケジュールモードのまま、2～3分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■スケジュールデータ修正・データ消去のしかた

セットしたスケジュールを修正、または消去するときは、以下の手順で行ないます。

準備1　修正／消去したいスケジュールを表示させる

÷/MC または +/M+ キーを押します

※データの探し方は、右記「データの呼び出し」を参照してください。

準備2　セット表示にする

Ⓑボタンを約2秒間押します → 名前の1桁目が点滅し、セット表示になります。

●スケジュールを修正するとき

セット表示のとき、ⓁまたはⒸボタンで点滅を移動させ、修正箇所を選び、スケジュールセット時と同様に正しい数字（文字）を入力し直します。

※修正が終わりましたら、Ⓑボタンを押して、スケジュールモードに戻します。

●スケジュールを消すとき

セット表示のとき、

Ⓐボタンを約3秒間押します

→“CLEAR”が表示され、データが消えます。

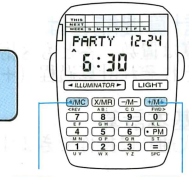
※消去が終わりましたら、Ⓑボタンを押して、スケジュールモードに戻します。

■データの呼び出し

セットしたスケジュールは、以下の手順で呼び出せます。

スケジュールモードのとき、

÷/MC または +/M+ キーを押します



→それぞれのキーを押すごとに記憶されているスケジュールが呼び出されます。

※いずれのキーも、押し続けるとデータが早く進みます。
※なお、メッセージを7文字以上セットしたときは、表示が右から左へ流れるスクロール表示となります。

■セットした月日／時刻になると

電子音が20秒間鳴り、セット日時であることを知らせます。なお、時刻・カレンダーモードでは、報音だけでなく、メッセージも表示します（7文字以上はスクロール）。

※“ ◈ ”が点灯しているときは、報音と同時に文字板が発光します。

★鳴っている電子音を止めるには、
Ⓐ・Ⓒ・Ⓛボタンおよび入力キーのいずれかを押します。

★デモアラーム（アラーム音を試しに聞く）
Ⓐボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴り、アラーム音を試しに聞くことができます。

※“ ◈ ”が点灯しているときは、報音と同時に文字板が発光します。

計算機能の使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを３回押して、計算モードにします。

■計算機能とは

計算は置数、答とも８桁（負数は７桁）で数式通りに計算できます。[+/M+]、[−/M−]、[X/MR]、[÷/MC]の各キーを押すとそれぞれ計算過程（＋、−、×、÷）が表示され、確認できます。

●基本計算

数式通りに操作できます。

例　題	操　作	表示窓
53+123−63=113	53[+] 123[−] 63[=]	+ 53. −176. 113.
2.3x6x5.2=71.76	2.3[×]6[×]5.2[=]	71.76
89÷56=1.5892857	89[÷]56[=]	1.5892857
963x(23−56)=−31779	23[−]56[×]963[=]	−31779.
(56x3−89)÷5.2+63 =78.192307	56[×]3[−]89[÷]5.2[+]63[=]	78.192307
123456x741852 ≒915億86080000	123456[×]741852[=]	915.8608E 億の位　エラー

●定数計算

置数の後に[+/M+]、[−/M−]、[X/MR]、[÷/MC]の各キーを２回押すと、その数が定数としてセットされ（Kを表示）同じ数を使った計算が簡単にできます。

例　題	操　作	表示窓
12+23=35 45+23=68	23[+][+]12[=] 45[=]	+K 35. +K 68.
7−5.6=1.4 2−5.6=−3.6	5.6[−][−]7[=] 2[=]	−K 1.4 −K −3.6
2.3x12=27.6 4.5x12=54	12[×][×]2.3[=] 4.5[=]	xK 27.6 xK 54.
45÷9.6=4.6875 78÷9.6=8.125	9.6[÷][÷]45[=] 78[=]	÷K 4.6875 ÷K 8.125
17+17+17+17=68	17[+][=][=][=]	+K 68.
$(2.3)^4$=27.9841 (または"$(2.3^2)^2$"として	2.3[×][=][=][=] →2.3[×][=][×][=])	xK 27.9841

●メモリー計算

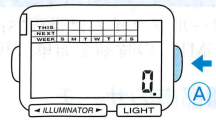
計算した数値を一時的に記憶させ、その値を計算に直接使うことができます。

メモリーに数値を足すとき → Ⓑ[+/M+]
メモリーから数値を引くとき → Ⓑ[−/M−]
メモリー合計値を表示させるとき → Ⓑ[X/MR]
メモリー合計値を消すとき → Ⓑ[÷/MC]

※メモリーを使用するときは各キーを押す前に必ずⒷボタンを押してください。（"S" 点灯）
※数値がメモリーされているときは、"M" が点灯します。
※なお、メモリー値はⓒボタンでモードを切り替えても消去されません。

例　題	操　作	表示窓
●合計計算		
80x9=720	Ⓑ[÷/MC] 80[×/MR] 9 Ⓑ[+/M+]	M 720.
−) 50x6=300	50[×/MR] 6 Ⓑ[−/M−]	M 300.
20x3= 60	20[×/MR] 3 Ⓑ[+/M+]	M 60.
（中間合計）480	Ⓑ[×/MR]	M 480.
123+45=168	123[+/M+]45 Ⓑ[+/M+]	M 168.
（合計）648	Ⓑ[×/MR]	M 648.
●混合計算	Ⓑ[÷/MC] 2[×/MR] 3Ⓑ[+/M+]	
(2x3)+(2x3)+4.5+4.5	Ⓑ[+/M+]4.5Ⓑ[+/M+]Ⓑ[+/M+]	M 21.
=21	Ⓑ[×/MR]	

■計算途中の訂正のしかた

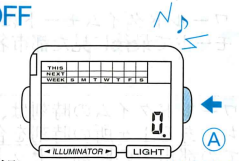


計算途中に数字を押し間違えたときは、Ⓐボタンを押してから、正しい数値を入力します。

※Ⓐボタンを押すと、そのとき表示されている数値が消去され、それまでの計算に支障なく引き続き計算が行なえます。また[+/M+]、[−/M−]、[X/MR]、[÷/MC]キーを押し間違えたときは、引き続き正しいキーを押してください。
※Ⓐボタンを続けて２回押すと計算値がすべて消されます。

計算が終わりましたら、ⓒボタンを押して時刻・カレンダーモードに戻します。なお、計算モードのまま、５～６分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■操作確認音のON/OFF



計算モードのときに、

Ⓐボタンを約２秒間押します

→Ⓐボタンを押すごとに操作確認音のON/OFFが切り替わります。

※操作確認音…モード切り替え、計算時のキー操作など行なったときに鳴る電子音

ワールドタイムの使い方

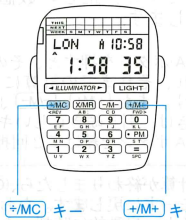
時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを4回押してワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界25都市の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができる機能です。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

+/M+または +/MC キーを押します



→各都市の標準時を表示します。

ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市名が最初に表示されます。

ワールドタイムの時刻は、表示される25都市のうち、ある1ヶ所の時刻を合わせると自動的にすべての都市での時刻がセットされます。ワールドタイムの時刻が合っていないときは、17ページ「ワールドタイムの合わせ方」を参照して時刻を合わせてください。
※なお、ワールドタイムの秒は、時刻・カレンダーモードでの現在時刻の秒に連動しています。

■ワールドタイム都市コード一覧

都市ｺｰﾄﾞ	都市名	時差	同一標準時の他の都市・地域
---	---	−11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	−10	パピート
ANC	アンカレッジ	−9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、ダラス、メキシコシティ
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、マイアミ、ボストン
CCS	カラカス	−4	サンチアゴ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス
---		−2	
---		−1	アゾレス諸島
LON	ロンドン	±0	〈グリニッジ標準時〉ダブリン
PAR	パリ	+1	リスボン、ローマ、マドリード、アムステルダム
CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート、
JRS	イエルサレム		ケープタウン
JED	ジェッダ	+3	クウェート、ナイロビ
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KHI	カラチ	+5	
DAC	ダッカ	+6	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
SYD	シドニー	+10	メルボルン、グアム島
NOU	ヌメア	+11	ポートヴィラ
WLG	ウエリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は１９９４年１１月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC ）を基準としたものです。

■ワールドタイムの合わせ方

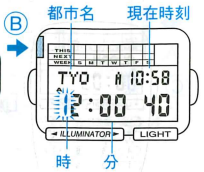
表示される25都市のうち、１ヶ所の時刻を合わせると自動的にすべての都市での時刻がセットされます。

準備：「■都市のサーチ」を参照して、時刻をセットする都市（基準とする都市）を選びます。

(1) セット表示にする

Ⓑボタンを約２秒間押します

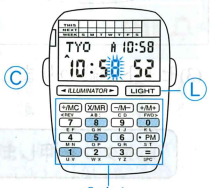
→10時台が点滅します。



(2) 時刻セット

入力キーでセットしたい時刻を選びます

例）“10時58分”は、「１０５８」と入力します。



★点滅の移動…Ⓛまたはⓒボタンを押します

★午前／午後の選択…•PMキーを押します

※時刻・カレンダーモードでの現在時刻を24時間制表示にしているときは、ワールドタイムの時刻も24時間制で表示されます。

(3) セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します →点滅が止まります。

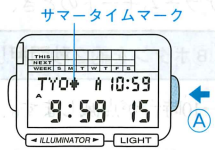
※セット表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。また、ワールドタイムモードのまま、２～３分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■サマータイム*の設定

準備：「■都市のサーチ」を参照して、サマータイムを設定したい都市を選びます。

設定したい都市を表示しているときに、

Ⓐボタンを約２秒間押します



→“◆”が点灯し、サマータイムでの時刻表示に切り替わります。

※“◆”が点灯しているときにⒶボタンを約２秒間押すと、通常の時刻に戻ります。
※サマータイムは、設定を行なった都市のみ有効です。

＊サマータイムとは、DST(Daylight Saving Time)といい、通常の時刻から１時間進める制度のことです。

アラーム・時報の使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを５回押してアラームモードにします。

１分単位で任意に時刻をセットでき、セットした時刻になると、20秒間電子音を鳴らして知らせる機能です。また、毎正時（00分のとき）に電子音で時報を鳴らすこともできます。

※“ ◈ ”が点灯しているときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。

■アラーム時刻のセットのしかた

(1)セット表示にする

アラームモードのとき、

Ⓑボタンを約２秒間押します



→10時台が点滅します。

(2)アラーム時刻のセット

入力キーでセットしたい時刻を選びます



＜セット例＞

８時　５分とセットするとき…「０８０５」

１０時５５分とセットするとき…「１０５５」

と入力キーを押します。



★点滅箇所の移動

…Ⓛまたはⓒボタンを押します

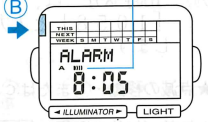
★午前／午後切り替え

… • PM キーを押します

※時刻・カレンダーモードで24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も24時間制となります。

(3)セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します



→“))) ”マークが点灯し、点滅が止まります。

※セット表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。また、アラームモードのまま、２～３分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

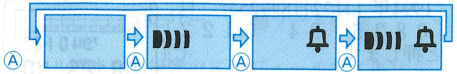
■アラーム／時報を鳴らすには

アラームモードのとき、Ⓐボタンを押します

→Ⓐボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順に点灯／不点灯をくりかえします。



アラームを鳴らしたいときは“))) ”、時報を鳴らしたいときは“ 🔔 ”を点灯させます。それぞれのマークを消しておくと、アラーム／時報は鳴りません。



アラーム	鳴らない	鳴　る	鳴らない	鳴　る
時　報	鳴らない	鳴らない	鳴　る	鳴　る

★デモアラーム（アラーム音を試しに聞く）

Ⓐボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴り、アラーム音を試しに聞くことができます。

※“ ◈ ”点灯中は、同時に文字板も発光します。

■鳴っている電子音を止めるには

Ⓐ・ⓒ・Ⓛおよび入力キーのいずれかを押します。

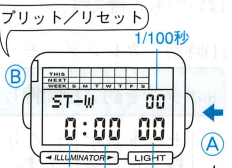
ストップウオッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを６回押します。

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に０に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

Ⓐボタンを押すと計測がスタート／ストップし、計測中にⒷボタンを押すとスプリット計測(SPL)となります。



●通常計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずにⒶボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓐ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

●１・２着のタイム計測

Ⓐ スタート → Ⓑ １着ゴール（１着タイム表示） → Ⓐ ２着ゴール → Ⓑ ２着タイム表示 → Ⓑ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていないときは以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの調整

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓑボタンを約2秒間押します

<セット表示>



→「セット表示」になり、「秒」が点滅します。

(2)時報に合わせて

0 キーを押します



→00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)点滅を止めるには、

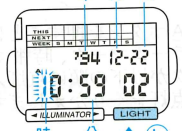
Ⓑボタンを押します

※「セット表示」のままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)「セット表示」のとき、

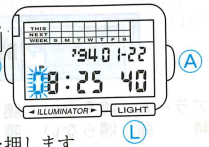
Ⓛボタンを押します



→10時台が点滅します。

(2) 入力キーで時刻・カレンダーを選びます

"1994年1月22日8時25分"は、「0825 94 0122」と押します。



★点滅の移動
…Ⓛまたは©ボタンを押します
★午前／午後の選択… PM キーを押します
★12/24時間制の選択…Ⓐボタンを押します

(3)セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します → 点滅が止まります。

●カレンダーは1990年から2089年までセットでき、うるう年および大の月、小の月を自動判別（フルオートカレンダー）しますので、電池交換時以外は修正不要です。
●曜日は、年月日を合わせると自動的にセットされます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±15秒以内

表示方式：FE型液晶デジタル表示

基本機能：時・分・秒・年・月・日・曜日スケジュール予告、フルオートカレンダー（1990～2089年）

テレメモ機能：名前と電話番号などを最大50件までメモリー、自動ソート機能

スケジュール機能：1年間のスケジュールをメモリー内容＝メッセージ、月日時分
2週間分のスケジュール予告付

計算機能：8桁加減乗除、四則定数計算、独立メモリー1組、計算状態表示、操作確認音ON/OFF

ワールドタイム機能：世界25都市の時刻を表示、サマータイム設定機能

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報知

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、デモアラーム（時刻／スケジュール）、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、12/24時間制表示切り替え

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子CMOS－LSI

使用電池：CR－2016（電池別途販売）

電池寿命：約2年（1日あたり、ライト2.5秒間、および、時刻アラーム20秒間（ライトONのとき）使用した場合）

※ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
●1日あたりライト2.5秒間を5回使用 … 約1年
●1日あたりライト2.5秒間を10回使用 …約8ヶ月

ご使用上の注意

■防　水　性

●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バ　ン　ド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温　　度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショ　ッ　ク

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁　　気

●磁気の影響はありません。

■薬　品　類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保　　管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池が消耗しますと時刻・カレンダーモードのときに“BATT.”と表示され、電池寿命時期であることを知らせます。このときはなるべく早く電池交換を行なってください。“BATT.”が点灯している間はアラーム音、時報および操作確認音は鳴りません。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

※電池交換を行なうと、本機に記憶されているデータは消えてしまいます。大切なデータはノートなどに書き写しておくことをおすすめします。